

窓 扇

— 同窓会だより —

No. 105 (平成 30. 2. 28発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 同窓会総会・ゴルフ大会・新役員紹介
- 3面 同窓会総会講演
- 4面 魚高生の活躍・同窓会役員名簿・連絡係

昨年(2017)8月の同窓会総会にて同窓会長に就任した第18回卒の若林忠嗣です。

中尾哲雄名誉会長、千田則行会長の後を受け、執行部役員及び同窓生の皆様の協力を得て、名門魚津高等学校同窓会の歴史を繋いでいきたいと思えます。

半世紀以上前のことなので在学中の記憶は少ないのですが、部活(放送部)で全国大会を目指していたこと、校内球技大会、また今でも同年代の同窓生の語りぐさですが、雪の中でもラグビーをしていたことなどが思い出されます。

卒業以来、学校との関わりは少なく、優良な同窓生とは言えませんが、長男が魚津高校へ入学した時に、妻がPTAの役員をしたぐらいで、卒業してから学校の縁は全くなかったと思います。それが創立百周年を迎える際に、記念実行委員会からお誘いがあり、久しぶりに懐かしい校門をくぐることになり、そして約2年間実行委員会のメンバーとして準備作業に関わらせていただきました。交渉事が多く大変でしたが、やりがいのある作業だったと記憶をしています。特に魚津中学、高等学校、実業高校そして魚津高等学校の4校の校歌のCDを制作したこと、記念音楽会を開催したことでしょうか。



創立120周年にむけて

同窓会長
若林 忠嗣

CDの録音作業では中学校・女学校の元気な同窓生の皆さんが大勢参加してくださり、新川文化ホールステージがまるで臨時の同窓会のような雰囲気になっていましたこと、自分たちが満足できるまで何回も何回も歌っておられたことを今でも鮮明に記憶しています。ただ一つ残念だったのが、記念式典に校歌の作曲者「團伊玖磨」さんをお招きすることが叶わなかったことでしょうか。

また、2011年には中尾同窓会長のもと、創立111年記念事業&式典が行われ、ここにも加わることが出来ませんでした。

百周年記念事業で建設した「歴窓館」の1階は学生食堂として使用しています。完成後18年経過していますが、過去には厨房に入る業者が見つからず、食堂の営業をやむなく中止をしたこともあります。現在は県内の大手業者にもお願いして運営をしていますが、現状をお話しすると、学生の食堂利用者の減少のため運営が厳しくなっています。

どなたもそうでしょうが、歳を重ねることに学生時代が懐かしく思い起こされ、母校のためならと思われる方は私だけではないと思います。

皆さんもご存じのことと思いますが、近年の少子化の影響で4月からの入学生は1クラス減の16名(4教室)となります。私が卒業する年(S41)は3学年で1184名、それに比して現在の在校生は3学年で60名です。3年後には3学年で48名となります。当校も近い将来、新川地区の高校との統合というところもあり得るかも知れません。そのような経緯も考えつつ、2019

利用する学生がいる限り同窓会で学食の支援を続けて行きたいと考えます。お願い事ばかりで恐縮ですが、学食は同窓生・PTAの皆さんが利用可能となつていきます。同窓生の皆様に食堂を利用頂くことで、母校また在学中の学生達との距離を縮める良いきっかけになるのではないのでしょうか。創立120年を迎える母校が諸先輩方の伝統を受け継ぎ、より活気に満ちた学び舎となることを願っています。

(日本海電業株式会社
代表取締役会長 第18回卒)

平成29年度魚津高校 同窓会総会

8月12日、グランミラージュにて同窓会総会が開催されました。若林忠嗣同窓会長（総会で会長に就任）と神田聡校長が開会の挨拶を行い、続いて美谷隆一同窓会常任幹事を議長として、事業報告・決算報告と事業計画・予算案等が承認されました。次いで十年間魚津高校に勤務されている杉木一文先生、下澤和美先生、御囲勉先生に若林同窓会長から感謝状が贈られました。

総会の後、富山医療福祉専門学校作業療法学科専任教員・渡邊純子氏（49回卒）による「ネパールで見つけた三つの宝物」青年海外協力隊と日本ネパール教育協会の経験から」と題した講演会が開催されました。

その後に行われた懇親会には、1000人を超す同窓生が集まりました。幹事学年代表の菅田智雄氏（魚高48回卒）の挨拶、若林同窓会長の挨拶に続き、新副会長三名の紹介、来賓の方々の紹介、東京魚高会会長の名古屋菊夫氏（22回卒）の祝辞を経て、同窓会名誉会長の中尾哲雄氏による乾杯で歓談が始まりました。

魚中・魚女の各校歌の斉唱があり、続いて応援団OBのエールのもと魚高校歌を高らかに斉唱しました。最後に、松島大輔氏（49回卒）の幹事引き継ぎの挨拶があり、同窓会副会長小林茂太氏による万歳三唱と神田校長からの返礼の万歳で閉会となりました。



応援団OBによる校歌斉唱

執行部 新役員紹介



副会長

小林茂太

(魚高18回卒)



常任幹事

林久嗣

(魚高26回卒)

- ① にかわ信用金庫理事長です。
- ② 卒業式に先生方が菊池寛の「父帰る」の演劇をやってくれたことが大変印象に残っています。
- ③ 若い人たちに何を残せるか、皆さんのために何ができるかを考えて一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



常任幹事

石川勝康

(魚高33回卒)

- ① 石川製麺株式会社（麺類の企画と製造販売）の代表取締役社長です。

- ① 魚津市議会議員として市民のために頑張っています。また、NPO法人わかさ会理事長として障がい者のためにも汗をかいています。青少年と自分のためにも富山県PTA懇話会の会長もしています。
- ② 典型的な理数系の学生でサッカー部に所属して、質実剛健というか無口でシャイな学生でした。ちなみに女子学生との写真が1枚ありましたが、シャイなもので写真の両サイドに位置してますが、間に三人くらい入れるスペースを空けての写真を撮ってもらった記憶が蘇ります。
- ③ 伝統ある名門魚津高校のために先輩方の教えを賜り、楽しく愉快に微力ながら頑張りたいと思います。

① 現在のお仕事 ② 魚高生時代の思い出 ③ 新役員としての抱負



常任幹事

片山 さゆり

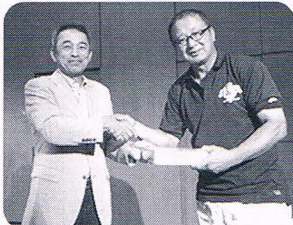
(魚高44回卒)

- ① アシステム税理士法人、株式会社アシステムに勤務しております。
- ② 魚津市吉島にあります会計事務所です。自社の経理、人事等のほか、お客様の会社の月次決算等を行っております。
- ③ 今思い出すとも何も考えず毎日楽しく高校生活を送っていたと思います。

- ① 女子バスケ部のマネージャーをしていました。
- ② 1、2年の時は先輩方に憧れ、3年の時は仲間と楽しく和気あいあいとしたことを思い出します。
- ③ 少しでも皆様のお役に立てるようお手伝いできたらと思っております。

- ① 今年になってやっと同窓のありがたさがわかるようになってきました。
- ② 今までご尽力いただいた諸先輩方に感謝し、地域、母校に貢献できるよう努めてまいります。

第19回魚津高校同窓会 ゴルフ大会



個人成績	優勝 本井 信志	勝次 大崎 哲正	3位 大野 幸誠	4位 本野 平	5位 本野 平
団体成績	優勝 本井 信志	勝次 大崎 哲正	3位 大野 幸誠	4位 本野 平	5位 本野 平

ネパールで見つけた3つの宝物

——青年海外協力隊と日本ネパール教育協力会の経験から——

富山医療福祉専門学校作業療法学科専任教員 渡邊 純子 氏(魚高49回)



私にとって「ネパール」

は、外国ではなく第2の故郷になりつつある。2009

年8月から2010年9月

まで、青年海外協力隊の作

業療法士として、ネパール

の障がい児者支援に関わっ

た。その後、日本ネパール教育協力会というN

GOの活動において、毎年、ネパールを訪問し

ている。

ネパールは、中国チベット自治区とインドの間に位置する南アジアの内陸国である。面積は北海道の1・8倍、人口は2、700万人程の小さな国であるが、世界一高い山エベレストが聳え立つ国であり、ヒマラヤ山脈を目前に仰ぎ見ることが出来る。また、エスニックモザイクとも言われるように多民族により構成されており、ヒンズー教や仏教、土着宗教等、多宗教をうまく調和・癒合せながら人々は生活をしている。

1962年に法律によってカースト制度による差別は禁止されたが、人々の生活にまだまだ根付いている地域もあり、教育を受けられなかったり職業選択が自由にできなかったりする。また、障がい児者に対する偏見や差別も非常に強く、前世の報いと考えられたり、まれに魔女

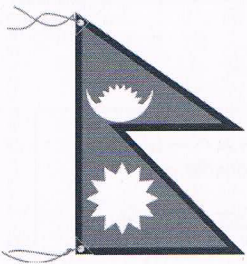
行っている地域もある。

青年海外協力隊における活動先は、首都カトマンズの身体障害者リハビリテーションセンターであった。対象者は、交通事故・感電事故・糖尿病による切断、脳卒中、脊髄損傷、脳性麻痺、ポリオ等の身体障がいの方々であるが、医師の診断が付いていない人も多く、障害や症状が悪化している人も少なくない。簡単に医療機関にアクセスができない山間部の地域に現地スタッフと訪問し、生活指導を行い、日常生活を容易にする自助具や義肢装具、車いすを提供した。また、スタッフに対して、自助具の作製や環境調整の方法を具体的に指導したり、生活の視点から支援できるように研修会を企画・実施した。

そして、帰国後は、日本ネパール教育協力会での活動を継続している。2015年4月にネパールで大規模な地震が起き大混乱に陥ったが、少しずつ復興してきている。復興の見込みが立っていない地域もあるが、住民の生活に配慮したBuild Back Betterという以前よりも良い状態での復興が進められている地域も見られている。復興支援に合わせて、当協会では、社会的に弱い立場である障がいのある人々も地域社会の一員として生活できるように、障がいに対する啓発活動を行っている。障

がい者スポーツであるボッチャの普及活動や脳性麻痺の子どものための座位保持椅子の作成等、地域の人々を巻き込みながら、障がい児者支援を継続している。

ネパールで見つけた3つの宝物は、①ネパール人との出会い②作業療法士としての行動力③自分の夢ができたことである。ネパール人との出会いは、まさに異文化との出会いである。ネパールの歴史・文化・習慣・言語を知ることが、日本との違いを知り、自分の視野を広げることができたと考えている。ネパール人と一緒に生活や仕事をする中で、日本での考え方が常識ではないことに気づき、自分の意見との違いに対して、なぜそう思うのかと考えることに興味を感じ、相手の文化や生活習慣、価値観を尊重し合うことの大切さを学んだ。また、生活習慣、文化、環境が日本とは全く異なる国で、作業療法士として活動できたことは、作業療法士としての行動力も身についたと感じている。様々なプロジェクトを企画・実施する時に、相手の能力や価値観に合わせて、一緒に協力できる関係を築けたことは、幅広い視点から物事を考える機会を頂いたと思う。最後に、自分の夢ができたこと、様々な人々がお互いの違いを認め合いながら、一緒に社会を創り、共に生活することが出来る社会を作りたいという夢を持って、今後は作業療法士として、特別支援教育の分野で実践していきたいと考えている。



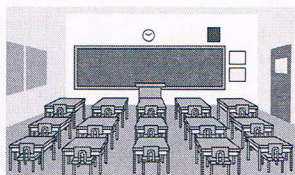
学校だより



体育大会



弁論大会



海外研修

魚高生の活躍

(平成29年9月〜平成30年2月)

陸上競技部

第53回富山県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会

女子4000m 1位 河中胡生芽

男子3000m障害 2位 石崎 孟

男子1000m 3位 横谷 悠斗

男子砲丸投 3位 桶川 晃毅

水泳部

第33回富山県高等学校新人水泳競技大会

女子50m背泳ぎ 2位 堀川ヒカル

女子50m自由形 3位 堀川ヒカル

競泳男子 3位 石崎 健太

男子200mリレー 3位 石崎 健太

山本 稜弥 石崎 健太

山田 創太 堀内翔太郎

男子200mメドレーリレー 3位 石崎 健太

山田 創太 堀内翔太郎 慧樹

石崎 健太 慧樹

柔道部

第63回富山県高等学校秋季柔道選手権大会

男子個人 66kg級 3位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

男子個人 66kg級 2位 板澤 俊介

平成29年度 同窓会執行部役員名簿

役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名
名誉会長	高7	中尾 哲雄	常任幹事	高44	松岡 千穂
会長	高18	若林 忠嗣	常任幹事	高44	片山さゆり
副会長	高18	小林 茂太	監事	高14	慶野 達二
副会長	高33	大橋 聡司	監事	高37	下澤 弥生
副会長	高37	大崎 雅子	会計	高35	高田 弘美
幹事長	高33	澤崎 豊	顧問	中49	石川 雅朗
常任幹事	高24	美谷 隆一	顧問	中50	坂本 信義
常任幹事	高24	四十物直之	顧問	定9	生駒 晴俊
常任幹事	高25	大愛 高義	顧問	高7	岩崎 脩一
常任幹事	高26	林 久嗣	顧問	高9	江幡 忠子
常任幹事	高30	川岸 勇一	顧問	高13	千田 則行
常任幹事	高33	石川 勝康	顧問	高13	鶴見 瑞夫
常任幹事	高36	伊東潤一郎	顧問	高15	小杉 紘平
常任幹事	高41	吉澤 浩司	顧問	高25	山本英紀子
常任幹事	高41	清田 博明			

同窓会連絡係 (平成29年度)

- 1組 摺田 真幸 橋本 陽
- 2組 佐々木 駿 岸本 悠里
- 3組 戸島 岳史 黒澤 友理
- 4組 ◎山谷 晟也 佐渡 菜月
- 5組 保里 海良 松井 友絵

◎は学年代表

原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？ 自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

同窓会ホームページ

http://uzu-dosokai.net/

魚津高校ホームページ

http://www.uzu-h.tym.ed.jp/